北関東自動車道  
(桜川筑西IC)(株)シロク  
(大型スクリーン向けタッチパネル)茨城空港  
(イメージ図)岡田钣金(株)茨城工場  
(設計から組立てまで一貫生産)常陸那珂港  
(北埠頭コンテナターミナル)日立建機(株)常陸那珂工場  
(大型油圧ショベル等の部品類製造)

## 進んでいます「産業大県」づくり

競争力にあふれ、これから日本をリードするため、茨城県では「産業大県」づくりを推進しています。こうした中で、今回は、着実に進む企業立地や新産業創出など、茨城を拠点に躍進する企業をご紹介します。

茨城県の平成十九年の工場立地面積は、全国三位であり、過去十年間の立地面積でも、一千ヘクタールを超えて、ダントツの一位となっています。この要因としては、まず工場新設に適した広い平坦な土地が挙げられます。さらに茨城県の地価は、神奈川県の三分の一以下、埼玉県と比べても半分以下であり、工場進出を行う企業にとっては大きなメリットではないでしょうか。

また、首都と関東一円を迅速に結ぶ高速道路網の整備が進み、移動時間の短縮、輸送量の増加など新たなビジネスの可能性も開かれてています。そして、国際物流の充実のために、常陸那珂港をはじめとする四つの重要港湾の整備を進めるとともに、平成二十一年度には、「茨城空港」が開港予定であり、首都圏の北の玄関口として期待されています。

このようなインフラ整備などに加え、今年十二月にはJ-PARC（大強度陽子加速器施設）も稼働の予定であり、最先端の科学技術や研究施設が集積する科学都市つくばでは、産学官連携の新製品開発などが行われることも茨城の魅力の一つです。今回も、このような茨城の優位性を十分活用して、活発にビジネスを行っている元気な企業を紹介します。

このようなインフラ整備などに加え、今年十二月にはJ-PARC（大強度陽子加速器施設）も稼働の予定であり、最先端の科学技術や研究施設が集積する科学都市つくばでは、産学官連携の新製品開発などが行われることも茨城の魅力の一つです。今回も、このような茨城の優位性を十分活用して、活発にビジネスを行っている元気な企業を紹介します。

生産本部副本部長の北脇秀夫さんは、「工場と港が近いため、製品の運送コストが安く、二酸化炭素も削減でき、地球温暖化防止にも貢献できます」と話していました。

茨城県の平成十九年の工場立地面積は、全国三位であり、過去十年間の立地面積でも、一千ヘクタールを超えて、ダントツの一位となっています。この要因としては、まず工場新設に適した広い平坦な土地が挙げられます。さらに茨城県の地価は、神奈川県の三分の一以下、埼玉県と比べても半分以下であり、工場進出を行う企業にとっては大きなメリットではないでしょうか。

また、首都と関東一円を迅速に結ぶ高速道路網の整備が進み、移動時間の短縮、輸送量の増加など新たなビジネスの可能性も開かれています。そして、国際物流の充実のために、常陸那珂港をはじめとする四つの重要港湾の整備を進めるとともに、平成二十一年度には、「茨城空港」が開港予定であり、首都圏の北の玄関口として期待されています。

産業大県いばらき  
～躍進する企業～



日立建機株式会社  
世界市場へ  
常陸那珂港から



出荷前の機械を念入りに点検

## いばらき クローズアップ



広い敷地の茨城工場

### 岡田鋳金株式会社

各種産業機器の精密板金加工を行う岡田鋳金株式会社は、中小企業が集積する東京の大田区蒲田で操業していました。しかし、土地が狭く地価が高いため、昭和六十三年、美野里町（現・小美玉市）に茨城工場を竣工しました。

現在では、敷地面積一万坪を誇り、設計から塗装・組み立てまでの一貫生産が可能となり、量産品の短期納入も実現することができました。

さらに、積極的に県内でビジネスを開拓して、県内企業が取引先の四割に達しています。専務取締役の増田武夫さんは、「県中小企業振興公社を通じ、企業とのネットワークを広げて、すっかり茨城の企業人です」と力強く話してくれました。

### 広い敷地と一貫生産が自慢

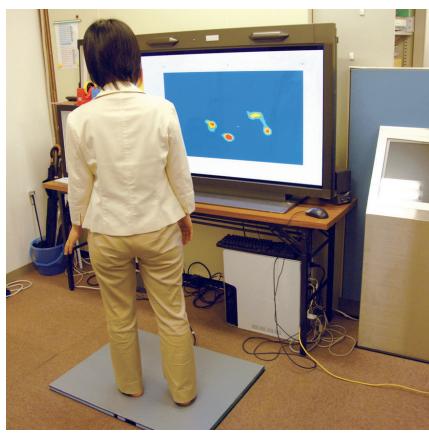
### 産学官連携で 新製品開発

#### 株式会社シロク

つくば市で起業したシロクは、カーメラ方式のタッチパネル開発製造などを手掛けるベンチャー企業です。同社では、最先端の科学技術や研究施設が集積するつくば研究学園都市の機能を生かし、産学官連携などによる新製品開発を行っています。

県工業技術センターと共同開発した電磁誘導方式圧力分布センサーは、平成十九年度に中小企業庁長官賞を受賞するなど評価は高く、ゲーム機や大面積の情報収集センサーなどへの応用が期待されています。

代表取締役の小川保二さんによると、「つくば研究支援センター内にオフィスがあるおかげで、産学官の連携や県の支援なども受けやすく、ベンチャー企業には最適な環境です」とのことでした。



県との共同開発による新製品



## 「いばらき産業大県創造基金事業」 がこの秋スタート!

この事業は、本県の豊かな地域資源やつくば・東海などの最先端の科学技術を活用した新事業、新産業の創出から少子高齢化・男女共同参画社会など新時代に対応した生活支援サービスといった地域密着型の事業まで、幅広く多様な中小企業の取り組みを支援し、「産業大県いばらき」の実現を目指します。

#### [助成事業]

##### ●いばらき地域資源 活用プログラム

農林水産物、産地技術、観光資源など、県の基本構想に位置付けられた地域資源等を活用した新しい取り組みへの支援を行います。

対象者：中小企業者、起業者など  
助成額：最大300万円  
(助成率2/3～3/4)

##### ●いばらきものづくり 応援プログラム

大学等と連携して行う新商品開発や、展示会への出展や国際認証の取得等販路拡大のための取り組みを支援します。

対象者：中小企業者および団体など  
助成額：新商品開発 最大500万円  
販路拡大 最大100万円  
(助成率1/2)

##### ●いばらきサービス産業新時代 対応プログラム

少子高齢化・男女共同参画社会など、新時代に対応した生活支援サービス等の新たな取り組みにおけるニーズ調査、計画策定など創業への支援を行います。

対象者：中小企業者、NPO法人など  
助成額：最大375万円  
(助成率3/4)

産業大県づくり・基金事業について

問 県産業政策課  
☎ 029(301)3525  
Fax 029(301)3539

産業立地について

問 県企業立地推進室  
☎ 029(301)2036  
Fax 029(301)2039

